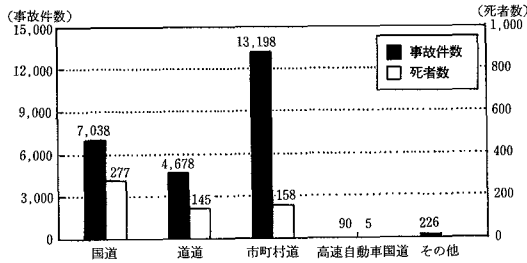


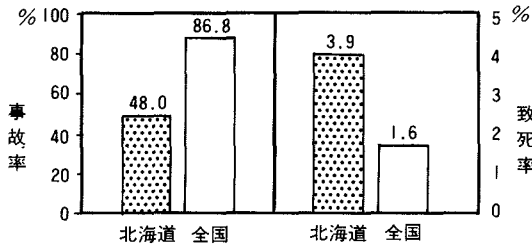
平成4年の国道における交通事故の特徴について

交通研究室

交通研究室は道路における効果的な交通安全対策の推進に資するため、以前から北海道の国道（以下、国道と記す）における交通事故の分析を行っており、交通事故を地形別、道路形状別、事故類型別、線形別などに分類し、集計しています。このたび、平成4年の分析結果がまとまりましたので、一部御紹介します。

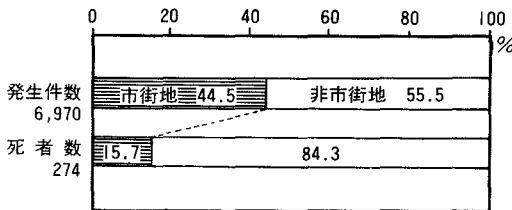


図一 道路種別事故発生状況



注) 致死率とは人身事故100件当りの死者数と定義する。

図二 事故率・致死率の比較



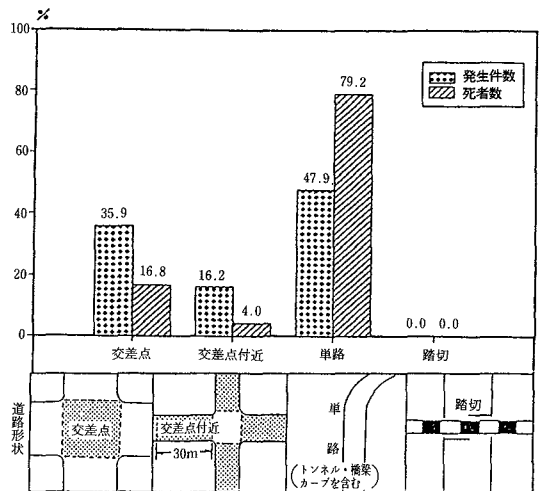
図三 地形別発生状況

1. 道路種別事故発生状況

発生件数（図一）では、国道が占める割合は全体の27.9%となっているのに対し、死者数では全体の47.4%と高い値を占めている。また、北海道と全国における事故率、致死率の比較図（図二）を見ると、全国に比較し走行億台キロ事故率は低いものの国道の致死率は高い。このことから国道では致死率が高く重大事故に結びつきやすい傾向にある。

2. 地形別・道路形状別発生状況

地形別の発生件数は（図三）市街地で44.5%、非市街地で55.5%とほぼ二分されているが、死者数では非市街地で84.3%と大半を占めている。道路形状別（図四）では交差点および交差点付近の事故が多発しているが、トンネル・橋梁・カーブを含む単路では事故発生件数の割合が全体の47.9%に対して死者数の割合は全体の79.2%と大半を占めている。



図四 道路形状別発生状況

3. 事故類型別発生状況

発生件数では(図-5)、車両相互(車両相互のうち33.8%は追突)が82%を占め死者数でも全体の52.9%を占めている。また、人对車両の事故発生件数は7.2%に対し、死者数では18.2%と高くなっている。

車両単独の事故発生件数は4.9%に対し、死者数は23.4%と高くなっており、致死率では車両単独事故の18.7と最も高い。

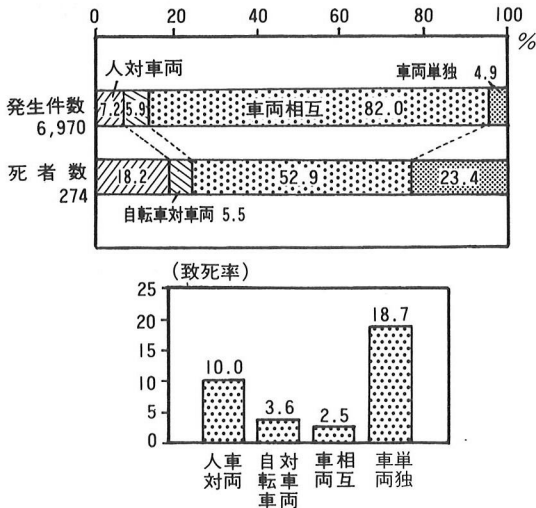


図-5 事故類型別発生状況

4. 曜日・昼夜別発生状況

曜日別の発生件数(図-6)は平均的であるが、死者数では週末の金、土、日の3日間で

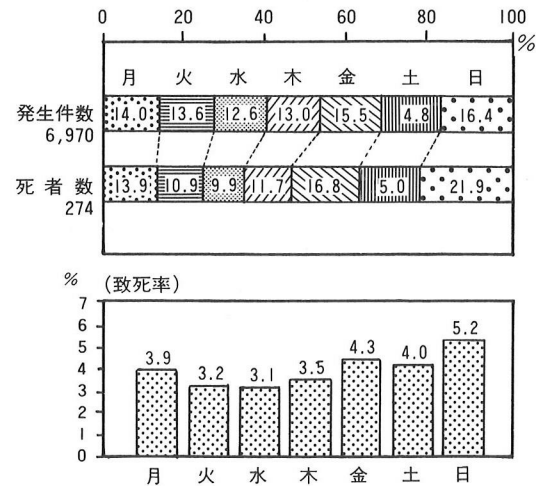


図-6 曜日別事故発生状況

53.7%と半数を占めている。また、致死率では日曜日が5.2と最も高い値を占めている。

昼夜別の発生件数(図-7)は夜間が35.2%に対し、死者数では54.4%と高くなっている。また、夜間の致死率は昼間の約2倍となっている。

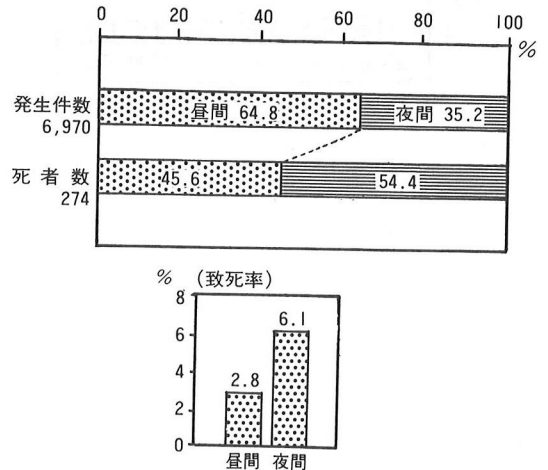
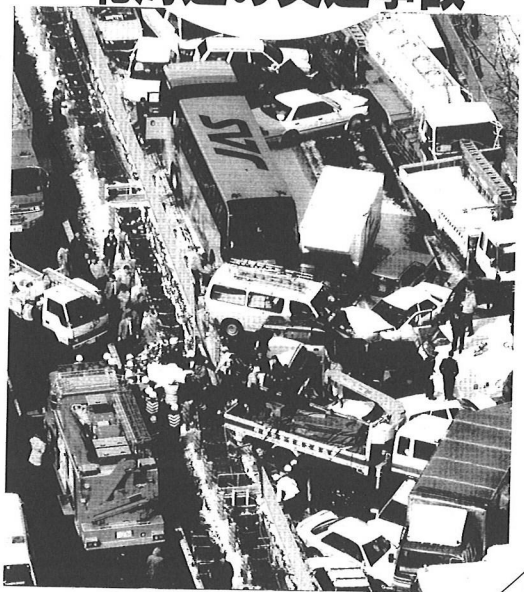


図-7 昼夜別事故発生状況

平成5年度 北海道の交通事故



統計ポケットブック

国道

ポケットブックの表紙

5. 第1当事者の年齢階層別発生状況

24歳以下の免許保有者数は全体の16.3%に対

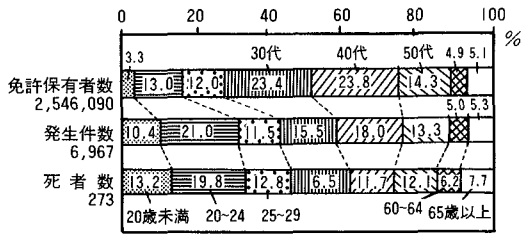


図-8 年齢階層別発生状況

し(図-8), 発生件数は31.4%, 死者数は33%と高い値を占めている。また, 30歳未満の死者数は45.8%と約半数を占めている。

以上, 国道における交通事故の分析結果を簡単に紹介しましたが, 詳しくは平成5年度版北海道の交通事故統計ポケットブックを昨年引き続き発行しましたので, 業務の参考にしていただき事故対策などに幅広く活用していただければ幸いです。

(文責 永井智之)

*

*

*